

腰痛文学

腰痛をテーマにした文学のアンソロジー

●2025年9月12日発売

豊臣秀吉に腰をもませて、失脚を企む柴田勝家。
孫の成長を優しく見守る、腰の曲がったおばあさん。
驚きのあまり腰を抜かしてしまふ幽霊。
そして、座骨神経痛に悩み、湯治へ向かう作家――。
「腰の痛み」や「腰の変調」を抱えた登場人物たちを集めた
小説、随筆、短歌などのアンソロジー。



腰痛文学

【ようつうさんかく】

井原西鶴
宮本百合子
小山勝清
壺井栄
十返舎一九
窪田空穂
佐左木俊郎
羽化仙史
上村松園
ヘルマン・ヘッセ
寺田寅彦

番外編には、今から
117年前に考案さ
れた腰痛対策体操も
収録。
時代を超えて人々を
悩ませる「腰痛」に、
文学から鋭く斬り
こむ！

人々々々々

収録作

定価：1300円＋税

ISBN：978-4-9913435-2-0 A6判 208ページ、右とじ、並製

井原西鶴 「腰抜けの仙人」

小山勝清 「秀吉の堪忍」

十返舎一九 「あんぼん丹」

佐左木俊郎 「山茶花」

上村松園 「健康と仕事」

寺田寅彦 「ステッキ」

宮本百合子 「ソヴェト映画物語―「新女性線」―

壺井栄 「十五夜の月」

窪田空穂 「桌上的灯」

羽化仙史 「旧情婦」

ヘルマン・ヘッセ 「湯治客」

国民体育研究会 「誰でもできる簡易体操」